

DVD解説

【テーマ：子ども】

題 名	保管	概 要
あなたは大丈夫？ 考えよう！いじめ ～一人で悩まず相談しよう～ (DVD)	人権 29分 2024	小学生編・中学生編 2つのストーリーがあります。 現在では、小中学生の多くがスマートフォンを持っていることから、メッセージアプリやSNSを使いたいじめなどのトラブルが多く起きています。いじめをなくすためにはどうしたらよいか、周囲の大人へのSOSの出し方や悩んだ時の相談窓口について、事例をもとに学んでいきます。
あなたは大丈夫？ 考えよう！児童虐待 (DVD)	人権 33分 2024	こどもの生命に関わる重大な児童虐待事件も後を絶たず、児童虐待の防止は社会全体で取り組むべき喫緊の問題です。 こどもを取り巻く深刻な状況を改善するため、児童虐待防止に関する正しい知識を身に付けるための映像教材としてお使いください。
ありったけの勇氣 (DVD)	人権 27分 2010	小学5年生のクラスメート、直子、真由美、美紀、千恵子たち。ある日、人に負けるのが大嫌いな千恵子は、ドッジボールの練習で、運動が苦手な美紀に負かされます。その日の帰り、千恵子は美紀の靴を隠し、翌日には美紀にいじめさながらのドッジボールの特訓をします。心配そうに様子を見ている直子たち。たまりかねた真由美が助けに入り、やがて千恵子たちのいじめは真由美に向けられますが、親友の直子を巻き込まないように、距離を置いて一人無言を貫く真由美。直子は自分の勇気のなさに悩みますが・・・相手の気持ちを考えることやいじめに立ち向かう勇気の大切さを伝えています。
いじめ 心の声に気づく力 (DVD)	人権 19分 2019	小学校中・高学年向けのいじめ防止教材です。一見、ふざけ合いや遊びに見える行為も、相手が苦痛を感じていればそれはいじめです。本作品では、子どもたちがドラマに登場するいじめの被害者・加害者・傍観者の立場に自分を置き換えて視聴することで、いじめ行為を受けたクラスメートの本当の気持ちに気づく力を養い、いじめの傍観者にならず、解決のために何か行動しようとする意識を持つことをねらいとしています。 小学校では平成30年度から「特別の教科 道徳」が始まり、「考え議論する道徳」の授業が求められています。いじめ防止のために、子ども達が考え、議論するための教材としても、本作品を活用いただければと思います。
imagination 想う つながる 一歩ふみだす (字幕・DVD)	人権 34分 2015	ラジオ局で番組パーソナリティを務めるサヤカの元には、今夜もリスナーからの相談の便りが届きます。現代社会に悩む様々な人々が番組を軸に心を通わせ、明日へとつながる一歩を見つけていくドラマ教材です。 【収録テーマ】 ・いじめをなくすのはアナタ（子どもの人権） ・「関わらないのが一番」それ本当？（同和問題） ・見えにくいから知ってほしい、発達しょうがいのこと（しょうがい者の人権）
傷つけられる思春期 ～子どもとの会話を 取り戻すために～ (字幕・DVD)	人権 25分 2007	2008年6月に発生した「秋葉原無差別殺傷事件」は、あらためて、親・周囲の大人たちと思春期の子どもとの関わり方に大きな警鐘を鳴らしました。ここ数年、思春期問題を背景とする事件が連続して起きています。この作品は、「成績優秀な子どもが不登校になり、両親に暴力をふるうようになったケース」と「朝帰り・外泊を繰り返していた子どもが、非行行動をやめるようになったケース」の、実際の2つの事例をもとに、思春期の子どもと向き合うために何が求められているかを提言しています。
声を聞かせて (アニメ・DVD)	虎姫 40分 2009	携帯電話は、もはや単なる『電話機』ではありません。メールやインターネットなど様々な機能を持つようになり、大人も含めて「ケータイがないと不安」な『携帯依存症』をつくり出しています。ケータイを子どもが持つということはどういう環境に子どもたちを置くことを意味するのか。私たちはこの現実に向き合っていけばよいのか、一緒に考えてみませんか。この映画では、インターネット上の差別的な書き込みなど、今なお差別意識が残っている『同和問題』についても取り上げています。

DVD解説

【テーマ：子ども】

題 名	保管	概 要
コタンの口笛 (DVD)	虎姫 65分 2009	畑中ユタカは、アイヌの血を引く少年で、札幌の近くのコタンという地域に姉と父と三人で暮らしています。父は、酒を飲んで暮らす毎日で、ユタカと姉は、アイヌであることを理由に同級生たちからいじめを受け苦しみます。同じ人間でありながら、アイヌというだけでなぜ傷つけられるのか、二人の姉弟のけなげな成長と、それを取りまく人々の人間愛の物語を、すわらじ劇団のみなさんがお芝居として演じられたものです。
クリームパン (字幕副音声・DVD)	人権 36分 2011	子どもや若者たちの間で、あまりにも軽く使われる「死にたい」や「殺すぞ」といった言葉。それは、彼らが「いのち」の大切さに気づいていないことの表れではないでしょうか。このドラマでは、派遣切りで失業し、自宅のアパートで自暴自棄な生活を送っていた主人公と、そのアパートで起こった子どもへの虐待事件を通して、人によって生かされ、つながっていく「いのち」の尊さと、家庭の果たす役割や地域社会の関わり方について考えます。
こころに咲く花 (DVD) 	商工虎姫 35分 2008	職場でのいじめに心を痛める主人公。一方、息子がいじめにあっていることには気づきません。力づくで相手を上回れば問題が解決するのではなく、相手を思いやる一人ひとりの豊かな心が重要であることに気づいた主人公は、いじめの解決に向けて行動を起こします。現在いじめは、学校や家庭、子どもの世界にとどまらず、地域や職場など大人の世界でも起こっており、その根は同じであることを訴えています。いじめが起こったとき、傍観者ではなく勇気を持って一歩を踏み出せば解決につながることを、情感豊かに描いています。
情報モラルを身につけよう！ 小学生のスマホの 安全な使い方教室 1巻・2巻 (DVD)	人権 21分18分 2018	子どものスマホ所有率は急激に増加しており、使用開始の低年齢化も進行しています。しかし、スマホは正しく使用しないと自分や相手を傷つけたり、危険な目にあうことになります。そのような目に合わないためには情報モラルを身につけることが大切です。相手の気持ちを考え、ルールを守ってスマホやネットを利用することが様々なトラブルから守ることに繋がります。この教材では、事例をドラマで描き安全で正しいスマホの使い方をわかりやすく解説しています。
小学生のための人権① 思いこみに気づく (字幕副音声・DVD)	人権 14分 2012	この作品は、ホームレスの人や身体にしょうがいのある人の暮らしの様子などを通して、わたしたちが日常生活の中で抱えている様々な思い込みについて考えるとともに、違いを受け入れることの大切さについて学びます。小学生高学年を対象に作られたものですが、大人を対象にした学習会でも十分にご利用いただけます。
スッコケ3人組の いじめをなくす作戦 (DVD)	人権 15分 2020	いじめに関わる深刻な事件が後を絶ちません。そこで、文部科学省はいじめ防止に向けて、いじめ問題を「考え、議論する道徳」として取り扱うようになりました。この作品では、スッコケ3人組のクラスの中でいじめが起こり、その問題を3人組のメンバーが、どう考え、どのように話し合っ解決へと導いていくのか、そのストーリーを展開しながら、視聴する子供たちに”いじめは絶対してはいけない”という強い意識を持ってもらい、いじめを防ぐためには、被害者のつらい気持ちに寄り添える思いやりを育むことが大切であることを訴えていくものです。

DVD解説

【テーマ：子ども】

題 名	保管	概 要
1.ちょっと待って、ケータイ ～被害者にも加害者にも ならないために～ 2.ケータイに潜む危険 ～子どもの携帯電話を考える～ (DVD2枚組)	余呉 各30分 2008	携帯電話は、急な連絡の際の手段として有用な反面、長時間利用により学習時間や睡眠時間が減少して生活リズムが乱れたり、インターネット上氾濫している有害情報により、さまざまなトラブルや事件に巻き込まれたりしています。このDVDを通して携帯電話等を介してインターネット上に氾濫している有害情報が、どのようなものかを、子どもの目線からと保護者の目線からの二つの視点から鑑賞できます。 事例①メールの落とし穴 ②ケータイに忍び寄る罠 ③プロフの危険な誘惑 ④学校裏サイトの闇
悩まずアタック！ 脱・いじめのスパイラル (字幕・DVD)	人権 33分 2014	この作品は、いじめ防止対策推進法が成立したことを機に、法務省が主催する全国中学生人権作文コンテストの中で、法務大臣政務官賞を受賞した作品をドラマ化したものです。実際にいじめにあって悩み苦しんだある女子中学生がなんとか周囲の人々に悩みを告白するきっかけをつかみ、いじめ問題を解決していく、一つの手がかりを提示する内容です。
虹のきずな (アニメ・字幕副音声・DVD)	人権 31分 2012	小学校の図書館で読み聞かせのボランティアをしている大学生のひかりは、いつも独りぼっちでいる男の子、ワン・タオロンと出会う。中国からやってきたタオロンは、下手な日本語を笑われるのが嫌で、同級生になかなか話しかけられずにいたが、そんな態度が誤解を生み、いじめられるようになっていた。そんなある日、ひかりは絵本を読んで泣いているタオロンに気づく……。このアニメでは、タオロンをいじめる子どもたちの様子や絵本のお話を通して、差別に対する「傍観者」あるいは「無関心」という立場に焦点を当て、様々な問題を自分の問題として考えること、人と人とがしっかりとコミュニケーションをとること、自立した考えや行動をとることの大切さを学びます。
日常の人権 I ～気づきから行動へ～ (DVD)	人権 23分 2009	日常生活の中でいつの間にか身につけてしまった差別や偏見。今一度それを見直してみませんか。人が人として大切にされる権利、人権を考えることなくよりよい社会を作ることはできません。人権感覚に疎い人の言葉や態度が差別を生みます。そして人権を侵害されて苦しんでいる人の心の痛みを分かろうとしないことで、新たな人権侵害が起こります。まず身近な問題から人権について考える作品です。この作品は「女性の人権」「子どもの人権」「高齢者の人権」についてドラマとドキュメンタリーにより構成されています。まず、ドラマパートでテーマごとに、日常にある偏見について気づきを促します。そして、どのような考え方や行動が、偏見をなくし、ともに生きるよりよい社会へ変えていけるかを考えていくきっかけになる作品です。
プレゼント (アニメ) (DVD)	人権 17分 2005	小学校4年生の綾香は、同級生の美由紀の誕生日に手作りの写真立てをプレゼントしますが、美由紀の気に入るものではありませんでした。腹をたてた美由紀は、それから綾香にいじわるを始めるのでした。仲の良かった友だちまで綾香を避け、やがてクラス中が綾香を仲間はずれにするようになりました。クラスで孤立している麻里だけが綾香をかばってくれましたが、ある出来事をきっかけに、綾香は学校を休んでしまいました。この作品は、子どもたちにいじめについて考えてもらい、自分の人権、他の人の人権の大切さを伝えています。

DVD解説

【テーマ：子ども】

題 名	保管	概 要
マザーズハンド ～お母さんの仕事～ (字幕副音声・DVD)	人権 19分 2013	母親が清掃員として働くことを恥ずかしく思い、家族に反抗し小学校を休んでしまった主人公。姉に無理やり母の仕事場に連れて行かれ、凛として掃除を続ける母の姿を見た主人公は、自分の心が差別意識を生み出すのだと気づく。 この作品では、家族とは何か？人権とは何か？差別とは何か？をある家族の姿を描くことで、身近にある偏見や差別に目を向け、人権への理解を深めるとともに、誰もが幸福に生きていく権利を持っていることを学びます。 
むしむし村の仲間たち (アニメ・DVD)	人権 13分 2017	外見や能力が異なるむしむし村の仲間たち。それぞれの違いが原因で相手を傷つけたり、悩んだりします。でも誰でも苦手なこともあれば、得意なこともあります。大切なのはお互いの違いを認め、相手の気持ちを思いやること。そして仲間と助け合っていくこと。 幼児～小学校低学年向けの楽しく学べる作品です。
 桃香の自由帳 (字幕副音声・DVD)	人権 36分 2011	核家族化や都市化が進む中、地域の人々が互いにふれあい、支え合うことが少なくなっています。そのため、同じ地域に暮らしていても、名前さえ知らなかったり相手のことを誤解して排除してしまったりするなど、気づかないうちに「人とのつながり」を自ら断ってしまうことがあります。 このドラマでは、小学2年生の入江桃香を主人公として、一人暮らしで気難しいと疎まれている秀次郎や、クラスメートの堂本志穂・その母恵里との関係を軸に描いています。噂話や見た目だけで判断する先入観の愚かさ、子どもの純粋な心、人と人との助け合いの大切さなどについて改めて感じられる物語です。

借用申し込みは各保管場所へ
お願いします。

